

【モンテルカスト錠 10mg 「ケミファ」】  
無包装状態における安定性に関する資料  
(最終報告)

日本ケミファ株式会社

● 目的

モンテルカスト錠 10mg 「ケミファ」の無包装状態における安定性を確認するため試験を実施した。

● 保存条件

- (1) 温度：40±2℃、3 ヶ月間、遮光、気密容器（褐色ガラス瓶）
- (2) 湿度：25±2℃、75±5%RH、3 ヶ月間、遮光、開放
- (3) 光：25±2℃、成り行き湿度、総照度 120 万 lx・hr（4000lx、12.5 日間）、開放

● 試験項目

性状、純度試験（類縁物質）、溶出性、定量法、硬度※

※ 参考情報（規格の設定されていない試験項目、光条件においては未実施の試験項目）

● 結果

(1) 温度に対する安定性

試験項目	規格	開始時	1 ヶ月	2 ヶ月	3 ヶ月
性状	明るい灰黄色のフィルムコーティング錠	明るい灰黄色のフィルムコーティング錠			
純度試験 (類縁物質含量：%) *	RRT 約 0.45    1.0%以下	0.18	0.22	0.26	0.30
	RRT 約 0.71    0.1%以下	0.02	0.02	0.03	0.03
	RRT 約 0.92    0.15%以下	n.d.	n.d.	n.d.	n.d.
	その他の最大    0.1%以下	0.04	0.04	0.05	0.08~0.09
	合計            1.2%以下	0.33~0.34	0.40~0.42	0.47	0.55~0.57
溶出性（溶出率：%）	20 分間の溶出率が 85%以上	98~100	94~99	97~100	98~101
定量法（含量：%）	95.0~105.0%	98.8~99.4	99.6~100.3	99.1~99.5	98.7~99.2
硬度 <sup>注)</sup> (硬度：N)	参考値	160~177	166~181	154~177	152~183
	平均値 [変化率：%]	167 [0.0]	176 [5.4]	167 [0.0]	169 [1.2]

表中の数値は、最小値～最大値を表す。    RRT：相対保持時間    n.d.：検出せず

\* 標準溶液のモンテルカストのピーク面積を 1.0%として算出した。なお、RRT 約 0.71 については、ピーク面積に感度係数 0.6 を乗じた値により算出した。

(2) 湿度に対する安定性

試験項目	規格		開始時	1 ヶ月	2 ヶ月	3 ヶ月
性状	明るい灰黄色のフィルムコーティング錠		明るい灰黄色のフィルムコーティング錠			
純度試験 (類縁物質含量：%) *	RRT 約 0.45	1.0%以下	0.21~0.22	0.37~0.39	0.50~0.51	0.59~0.60
	RRT 約 0.71	0.1%以下	0.03	0.03	0.03	0.03
	RRT 約 0.92	0.15%以下	n.d.	n.d.	n.d.	n.d.
	その他の最大	0.1%以下	0.03	0.03	0.03	0.03
	合計	1.2%以下	0.31~0.34	0.47~0.49	0.59~0.60	0.67~0.69
溶出性 (溶出率：%)	20 分間の溶出率が 85%以上		93~97	89~99	94~98	94~99
定量法 (含量：%)	95.0~105.0%		97.4~99.3	98.8~101.3	97.4~97.5	99.1~100.8
硬度 <sup>注)</sup> (硬度：N)	参考値		163~204	93~106	96~109	99~109
	平均値 [変化率：%]		174 [0.0]	98 [-43.7]	103 [-40.8]	103 [-40.8]

脚注については、(1) 温度に対する安定性の表の脚注を参照

(3) 光に対する安定性

試験項目	規格		開始時	60 万 lx・hr	120 万 lx・hr
性状	明るい灰黄色のフィルムコーティング錠		明るい灰黄色のフィルムコーティング錠		
純度試験 (類縁物質含量：%) *	RRT 約 0.45	1.0%以下	0.24~0.26	0.29~0.30	0.32~0.33
	RRT 約 0.71	0.1%以下	0.02	0.03	0.03
	RRT 約 0.92	0.15%以下	n.d.	0.01~0.02	0.02~0.03
	その他の最大	0.1%以下	0.02~0.03	0.03	0.03
	合計	1.2%以下	0.33~0.35	0.39~0.41	0.43~0.46
溶出性 (溶出率：%)	20 分間の溶出率が 85%以上		95~100	90~99	90~98
定量法 (含量：%)	95.0~105.0%		99.2~99.5	100.4~101.7	98.5~100.2

脚注については、(1) 温度に対する安定性の表の脚注を参照

注) 本剤には硬度の規格が設定されていないため、「錠剤・カプセル剤の無包装状態での安定性情報 改訂 6 版 (医薬ジャーナル社)」の評価基準に従い硬度を評価した。

分類	評価基準
変化なし	硬度変化が 30%未満の場合
変化あり (規格内)	硬度変化が 30%以上で、硬度が 2.0kg 重以上の場合
変化あり (規格外)	硬度変化が 30%以上で、硬度が 2.0kg 重未満の場合

2.0kg 重=19.6N

## ● 結論

モンテルカスト錠 10mg「ケミファ」の無包装状態における安定性を確認するため試験を実施した結果、温度に対する安定性においては、類縁物質の増加（規格内）が認められた。湿度に対する安定性においては、類縁物質の増加と硬度の低下（いずれも規格内）が認められた。光に対する安定性においては、類縁物質の増加（規格内）が認められた。

日本ケミファ株式会社：無包装状態における安定性に関する資料（社内資料）

2017年5月作成